

(経緯説明)

令和3年3月10日に新型コロナウイルス感染防止を図るため「令和2年度 第2回 文化財保護委員会」は、書面開催とし協議事項の質疑応答を行い、委員長承認を得た上で、各委員にまとめたものを確認して頂き、公開する事とします。

(公開の方法)

1. 事務局説明者氏名削除、質問委員名ABCDとし、特定されないようにする。

令和2年 第2回恵庭市文化財保護委員会 資料に対する 各委員からの質問・意見及び事務局よりの回答

(本来の恵庭市文化財保護委員会予定内容)

開催年月日： 令和3年3月10日(書面開催)

出席者： 山田委員長、高橋副委員長、岩淵委員、那須委員、伊藤委員、土屋委員
赤沼委員

(事務局) 穂積教育長、竹内教育部長、大嶋教育部次長、原田郷土資料館長
大林資料館担当主査、長町史跡・埋文発掘担当主査
太田埋文事務・総務担当主査

1. 議 題

(1)令和2年度 郷土資料館事業報告について

A委員	コロナウイルス感染予防がなされているなか、各種事業の展開ご苦労様でした。 カリンバ遺跡史跡等水文環境調査結果について、今後計画されているカリンバ遺跡整備実施計画の作成にあたり、遺物包含層での地下水量の変化をまねきかねないよう、ガイダンス整備の基礎工事の施工方法の検討が必要であることを申し送る必要があります。
事務局	令和2年度の水文調査結果では「段丘面の地下水位は地表面から深度1.0～2.5mであり、地下水位面より深部まで基礎掘削を要する場合は地下水低下の可能性」が指摘されております。 今後の水文環境調査でも留意していくとともに、基本設計に当たってはこのことを充分考慮する必要があると考えております。
B委員	「展示事業」、「企画展」、国指定重要文化財展示の埋蔵文化財整理室(牧場)は交通手段に難があり、「見学に行きづらい」とのお声を耳にいたします。 毎年の企画ですので、何かしらの対応を考えてもよいのではないのでしょうか。
事務局	重要文化財を展示する上で、適正管理ができる場所が埋蔵文化財整理室なため、展示場所の変更ができず、整理室での展示としております、交通手段については、今後の課題として検討してまいります。
C委員	コロナ禍中にもかかわらず、展示事業に多数の参加がみられる(学生以外80%)市民の期待の大きさと意識の高さが感じられる。

D委員 1月末総入館者数並びに、実施された展示・教育普及事業への参加者数に注目しました。
 総入館者数は、前年比約50%弱ですが、その方々は新型コロナ禍の中であつてなお、当館事業へ参加した小中学生と一般市民であるからです。
 中止の事業が多かったのは残念ですが、実施された企画展、常設展示室の入れ替え展示、講座、講演会への参加者が少なからずいたことで、市民にとっての当館の存在価値の大きさを再認識できたと思います。

(2) 令和3年度 郷土資料館事業計画(案)について

A委員 まだ、コロナウイルスの影響が残っていますので、事業計画の実施にあたっては柔軟な対応が必要となります。
 場合によっては中止する勇気をもって臨んでください。
 また、職員皆様の健康に気をつけて事業に臨んでください。

E委員 ガイダンス施設を遺跡の上流側に検討中とのことですが(P6)、地下水流動から地下水位を低下させることが予想されます。
 遺物への悪影響を防ぐため、ガイダンス施設を地下水動の下流側に設置することを検討すべきではないでしょうか、それができない場合には、施設の規模や構造、建設の工程について、遺物への影響を最小限にとどめるよう、十分に配慮する必要があると思います。

事務局 ガイダンス施設等の建設場所は現在南西側周辺地区(ローソンの北側＝地下水動の上流側)に計画しております。地下水動の下流側は低地面となっており建設適地がないことから、ガイダンス施設等の基礎掘削深度によっては南東側周辺地区(カリンバこどもクリニックの北東側)に移すことも考えられます。
 場所の移動が困難な時は、ご指摘のとおり基本設計時に工法を検討する必要があると考えております(基礎の深度を1m未満とする、水道を設ける、規模や構造を変更するなど)。

B委員 「教育普及事業」、「体験学習会」について、令和3年度は、感染防止対策に努めることにより、郷土資料館と郷土資料館ボランティアの会との共催事業開催は可能になるのでしょうか。

事務局 教育普及事業に関しては、新型コロナウイルスの影響を見ながら柔軟に対応していく所存です。
 郷土資料館ボランティアの会との共催で実施する事業に関しましては、事業によって実施時期、方法、準備期間等の条件が大きく異なるため、各担当の皆様とご相談の上、無理のないように進めていきたいと考えております。

C委員 1. ガイダンス施設(駐車場)建設にともなう水文環境変化調査継続の必要性を認識し、方針に同意する。
 2. 修復文化財の展示など企画展や教育普及事業の充実を期待する。
 3. 収集資料データベース化、資料公開の迅速化に努め、市民意識の向上に向けた取り組みを期待する。

D委員 各事業が計画通りに実施できることを願っています。

(3) 令和3年度 郷土資料館予算(案)について

A委員 アイス政策推進交付金事業については、昨年度は、コロナウイルスの拡大で中止せざるを得ませんでしたが、今年は計画どおり実施できるよう期待しております。
 平取町ではアイヌ文化について様々な事業が展開され、アイヌ文化に対するいろいろな蓄積がありますので参考になるかと思います。

事務局	新型コロナ感染拡大防止策を徹底しながら事業を実施する予定です。ただし、感染状況によりましては中止も検討するなど柔軟に対応してまいります。
B委員	「一般事務費」の北海道博物館大会について、開催時期・内容を教えてください。 本年度が未定であれば、前年度のものを教えてください。
事務局	令和3年度、7月に白老町で開催予定ですが内容は未定です。 令和2年度は、6月末に士別市で開催予定でしたが中止となりましたため、令和元年度について報告します。 開催時期:令和元年度 7月17、18日 北見市で開催 内容:「出会いと学びを通じた学芸員の資質向上の展開」を大会テーマに掲げ、北海道博物館協会が国立科学博物館・北海道博物館と連携して、地域博物館とその職員の活動の活性化を図るため、道内各地で実施した研修・展示・シンポジウムの事例を紹介。